

おはなしのぶん

ぶんの おしまいには 「」を つけます。

● たいしい ところに ○(まる)を つけましょう。

① ぼくは きょう がっこうへ いきました

② わたしは きのう はやく ねました あさも はやく お
きました

③ おかあさんは やおやに いきました だいこんを かいま
した

ひとつの ぶんが ながく なるような ときには、とちゅうで きつ
て よむ ところに、(てん)を うちます。

☆ てんの うちかたは ひとに よって さまざまですが、 つぎの
ことに きを つけましょう。

- ① ひとつの ぶんの なかに みつつも よつつも てんを うたない。
- ② くつつぎの 「を」の あとには てんを うたないように する。

● つぎの ぶんは それぞれ ひとつだけ てんを うってみましょう。

① にわの そうじを しながら たけしくんは きのうの こ
とを おもいだしました。

② がっこうの ちかくの こうえんで おじいさんが ひなた
ぼっこを していました。